

WHO ファクトシート

溺死

Drowning

2017年5月

重要な事実

- ・溺死は、不測の傷害による死亡原因の第3位であり、傷害関連死全体の7%を占める。
- ・世界中で毎年36万人が溺死していると推計される。
- ・この世界推計は、低く見積もられている可能性があり、溺死に関連する実際の公衆衛生上の問題を過小評価することにつながりかねない。
- ・子ども、男性及び水にアクセスする機会が増えた個人は、溺死のリスクが最も高い。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Drowning ファクトシート原文は [こちら](#)